



倫理委員会 ニュースレター

第17号：交流集会「倫理カンファレンス」のコツを探ろう！開催しました

乾 早苗（倫理委員会）

2024年6月22日・23日に沖縄コンベンションセンターにて、第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会が開催されました。当倫理委員会は、「倫理カンファレンス」のコツを探ろう！と、交流集会を開催し、69名の方々にご参加いただきました。当日は、5～6人でグループとなり、仮想事例について模擬倫理カンファレンスを行いました。第17号ニュースレターでは、模擬カンファレンスの様子を踏まえて、倫理カンファレンスのコツについてお伝えします。



アイリス
「希望」

1. カンファレンスへの準備

カンファレンスとは、チームメンバー間で交わされる意見交換によって情報の共有化を図り、支援方法の検討を行うことです¹⁾。どんなことも準備を十分することが大切ですが、倫理カンファレンスにおいても同様です。事前に準備することを挙げてみます。

1) あらかじめ情報を整理しておく

情報を整理するツールは、Jonsenの臨床倫理4分割表、清水らの臨床倫理検討シートなど様々ありますが、施設に合った使いやすいものを選ぶと良いでしょう。項目すべてを完璧に情報を記載しようとする、準備に時間がかかり、タイムリーにカンファレンスが出来ないことに繋がります。完璧でなくても、今ある情報を整理し、参加予定者であらかじめ共有しておくと良いです。

2) 開催目的と具体的な到達目標を明確にする

話題提供者のねらいや問題提起をなるべく具体的に表します。

3) 必要な参加者が集まれる日時を設定する

関係する多職種が参加しやすい日時を設定します。

2. カンファレンスの実際

1) 雰囲気を整える

今回の模擬カンファレンスでは、初対面の方々とのカンファレンスとなるため、自己紹介をする際、アイスブレイクとしておすすめのお土産を紹介してもらいました。最近、施設内にとどまらず、地域の方々とのカンファレンスすることも増えてきました。受け持ち看護師の〇〇ですと役割が分かるような自己紹介やアイスブレイクを活用することで、話しやすい雰囲気に整えることができます。

2) 安心して発言できる場を保证する

発言力のある人の発言は後にするなど話す順番を工夫する、発言しやすくなるようなルールを共有するなど、参加者全員が安心して、自分の意見を発言できるようにします。今回の模擬カンファレンスでは、①否定せずによく聴く、②必ず発言する、③忸度しない、④「できない」とは言わない、の4つをルールとし、初めに提示しました。臨床でも活用できませんか。

3) 話し合いたいことを明確にする

初めに話し合うことを明確にし、議論を進めます。情報を共有するだけでなく、これから実践できることについても具体的に話し合しましょう。情報が足りない場合はいつまでに誰が誰から情報を得る、医療者家族間で話し合いが必要なら、話し合いの場を設けるよう調整する、というように、これから行うことを明確にすることが重要です。今回のカンファレンスでは、次の3つの視点で話し合いを進めました。

- ① 事例を共有する：どんな事例だったか、気になったところはどこか
- ② 情報を整理する：不足している情報はあるか、関係者の思いや考えはどうか
- ③ これからの実践：これからできそうなことはあるか、どのように対応していくと良いか

3. カンファレンスのコツ

カンファレンスのコツとして、カンファレンスまでに準備しておくの良いこと、意見を出しやすくするためにできることについて意見交換しました（表1）。

表1. カンファレンスのコツとして出された意見（抜粋）

〈事前準備として〉
・ カンファレンスに出席できない人の意見をあらかじめ聞いておく
・ カンファレンスの環境を整える（参加者、場所、時間など）
・ 四分表などを活用し、事前に情報を整理しておく
〈意見を出しやすくするためにできること〉
・ 目的、目標を提示する
・ すべての人が話せるようにファシリテーションする
・ 発言は否定せずによく聞く、話をさえぎらない
・ 意見を要約しながら進める
・ 沈黙になった時は話せる人に話してもらう
・ 少人数で開催する
・ 話題提供した人に感謝する、話題提供した人が否定されないようにする
・ 話が分散しそうになったら要点をまとめて主題に導く

25分という短い模擬カンファレンスでしたが、短い時間でも準備をすると十分話し合えることがわかった、忖度や評価が伴わない話し合いが有意義だったなどの感想がありました。倫理カンファレンスを成功させるためには、事前準備、時間管理、参加者が活発に意見を言える雰囲気を作ることなどがポイントになるのではないかと考えます。

参考文献

- 1) 篠田道子編（2015）. チームの連携力を高めるカンファレンスの進め方第2版. 東京. 日本看護協会出版会.
- 2) 清水哲郎他編（2022）. 臨床倫理の考え方と実践 医療・ケアチームのための事例検討法. 東京. 東京大学出版会

（発行日：2024年9月27日）